

第2学年 国語科学習指導案

日時 平成28年9月30日(金) 5校時
児童 男子14名 女子13名 計27名
授業者 小澤 知成 (T1) 市村かおり (T2)

- 1 単元名 会話や行どうに気をつけて、読み方やどうさをくふうしながら音読げきをしよう
教材名 「名前を見てちょうだい」(東京書籍 2年下)

2 単元の目標

- 人物の様子を音読や動作で表現することに興味を持ち、物語を読もうとしている。[関心・意欲・態度]
- 場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むことができる。[読むこと ウ]
- 語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。[読むこと ア]
- 主語と述語に気をつけて、文章を読むことができる。

[伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 (カ)]

3 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
○人物の様子を音読や動作で表現することに興味を持ち、物語を読もうとしている。	○場面の様子について、人物の行動を中心に想像を広げながら読んでいる。(ウ) ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読すること。(ア)	○主語と述語に気をつけて、文章を読んでいる。(カ)

4 言語活動とその特徴

本単元では、「C 読むこと」の「ウ 場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと」を重点的な指導事項とする。そのために「文章の中の言葉を元に、思い浮かべた人物の気持ちや様子を音読や動作で表現する」活動を、単元を見通した言語活動として設定した。そのために、言語活動例「ア本や文章を楽しんだり、想像を広げたりしながら読むこと」をより具現化し、「音読劇をしよう」という言語活動を設定する。

具体的には、「場面の様子について、登場人物の気持ちや行動を表す言葉を見つける。それをもとに、より詳しく具体的に想像し、音読や動作で表現する。自分が音読したい場面を選んでグループを作り、表現の仕方を話し合って考える。学級で音読劇を発表する」言語活動である。音読や動作で表現するには、主語と述語の関係を注意して読み、より具体的に人物の行動や性格、「ぼうし」に対する思いを詳しく想像する必要がある。これらの言語活動を通して人物の気持ちを、より深く実感を持って考え、「人物の行動や様子を豊かに想像しながら読み取り、音読や動作で表現する力」を身につけさせたい。

5 単元について

(1) 児童について

児童は、二年上「お手紙」で、物語がいくつかの場面からできていることを理解し、人物の行動に即して物語を読む学習を行っている。人物の様子や気持ちが表れている文や言葉をすぐに見つけられる児童もいれば、見つけるのが難しく、時間がかかり、支援が必要な児童もいて、個人差が大きい。課題に対する自分の考えを書くときに、どのように書いたらいいか悩んだり、間違ふことを気にしてためらったりして、なかなか書けない児童もまだいる。

音読については、毎日家庭学習で音読に取り組んでいる。句読点で間を取ったり、言葉のまとまりに気をつけて読んだりすることは練習している。4月に「風のゆうびんやさん」で、音読朝会の発表に向けて役割分担をし、様子や気持ちが伝わるような読み方を工夫する学習をしている。自分でイメージを膨らませて人物になりきって表現できた児童もいるが、自分で考えて表現するまでには至らず、友達の模倣が精いっぱいという段階の児童もいる。音読劇という形は今回が初めてである。

これまで交流する場としては、友達の意見に対して、自分の意見と比べて同じか、違うか、付け足すことがあるのかハンドサインを用いて意思表示をしたり、授業の振り返りで友達の考えについて発表し合ったりしている。ペアやグループでの交流は、安心して取り組む児童が多い。上手に意見を聞き合える児童もいるが、自分の意見が絶対で、よく検討せずに相手を否定してしまったり、意見の言い合いで終わってしまったりする場合もある。

そこで本単元では、叙述の会話や行動に気をつけて想像を広げながら読み、友達の意見を聞いて、自分の考えと比べたり、相手の考えを受け入れて互いの考えを広げていったりする交流の場を通して、読み方や動作を工夫して表現する力をつけていきたい。

(1) 教材について

本教材は、場所の変化と、主人公が新たに会える人物に着目することにより、場面の移り変わりを把握しやすい物語である。新たな人物が登場するたびに、主人公と人物とのやり取りが繰り返されるため、児童は展開を楽しみながら、場面の様子について豊かに想像を広げて読むことができるだろう。人物の動きや表情も多様で、会話文も多いため、役割を分担して読んだり劇化したりするのに適した教材である。

よって会話や行動に気をつけて、想像を広げながら読み取り、読み方や動作を工夫して表現する力身につけるのにふさわしい教材である。

(2) 指導にあたって

第一次では、登場人物の気持ちや行動を表す言葉から、より想像を広げ、音読劇で読み方や動作を工夫して表現するという学習課題を確かめる。第二次の最後には自分の好きな場面をグループで音読劇として発表し合うことを知らせる。教師は短い音読劇の見本を提示し、どのように音読劇をすればいいのかという、単元のゴールの見通しを持たせる。

第二次では、出会った人物と場所を手がかりにして場面を6つに分ける。場面ごとに人物の気持ちや行動を表す言葉や文を見つけて、それを手がかりに登場人物の気持ちを想像し、大体の出来事をとらえる。音読劇は、お気に入りの場面を選ばせて少人数のグループを設定し、友達と意見を聞き合いながら作り上げていくことによって、友達の意見をもとに、模倣したり、それを土台にしてさらに工夫をしたりすることも期待される。児童一人ひとりが活動する場も設定できる。音読劇の発表では、グループごとにどのような効果をねらって読み方や動作を工夫したのか、理由も発表する。

第三次では、音読劇をして交流したことによって、ねらいが達成された発表だったのか考えたり、友達

の工夫の良さに気づいたりすることによって、学び合うことの良さを実感させたい。また今後の文学的な文章の学習でも、本単元の学習を生かして読み方などの表現の工夫をすることで読みを深められると考えられる。

6 指導計画（全16時間）

段階	時間	主な学習活動	評価規準
第一次	1	<ul style="list-style-type: none"> 絵や題名を見て、物語について想像を膨らませる。 全文を読み単元のねらいと学習内容を知り、読み方や動作を工夫して音読劇をするという学習の見通しを立てる。 	【関】 人物の様子を音読や動作で表現することに興味を持ち、物語を読もうとしている。 (発言、ノート)
		会話や行動に気をつけて、読み方やどうさをくふうしながら音読げきをしよう	
	2	<ul style="list-style-type: none"> 教師の音読劇の例をみて、音読劇のイメージをつかむ。 	【読】 新出漢字や新しい言葉を理解している。
第二次	3	お話の設定をとらえ、場面分けをする。	【読】 場所と人物に着目して物語を6つの場面に分けている。 (発言、ノート)
	4	<ul style="list-style-type: none"> 出会った人物と場所を手がかりにして場面を6つに分ける。 	
	5	場面の内容の大体をとらえる。 <ul style="list-style-type: none"> 帽子をもらったえっちゃんの様子や気持ちを想像して読む。 	【読】 帽子をもらったえっちゃんの様子や気持ちを想像して読んでいる。(発言、ノート)
	6	場面の内容の大体をとらえる。 <ul style="list-style-type: none"> 風にさらわれた帽子を追いかけるえっちゃんの様子や気持ちを想像して読む。 	【読】 風にさらわれた帽子を追いかけるえっちゃんの様子や気持ちを想像して読んでいる。 (発言、ノート)
	7	場面の内容の大体をとらえる。 <ul style="list-style-type: none"> 野原でのえっちゃんとキツネの様子や気持ちを想像して読む。 	【読】 野原でのえっちゃんとキツネの様子や気持ちを想像して読んでいる。(発言、ノート)
	8	場面の内容の大体をとらえる。 <ul style="list-style-type: none"> 畑でのえっちゃんときつね、牛の様子や気持ちを想像して読む。 	【読】 畑でのえっちゃんときつね、牛の様子や気持ちを想像して読んでいる (発言、ノート)
	9	場面の内容の大体をとらえる。 <ul style="list-style-type: none"> 林で大男と出会った時のえっちゃんたちの様子や気持ちを想像して読む。 	【読】 林で大男と出会った時のえっちゃんたちの様子や気持ちを想像して読んでいる。 (発言、ノート)
	10	場面の内容の大体をとらえる。 <ul style="list-style-type: none"> 大男に立ち向かうえっちゃんの様子や気持ちを想像して読む。 	【読】 大男に立ち向かうえっちゃんの様子や気持ちを想像して読んでいる。

	1 1	場面の内容の大体をとらえる。 ・帽子を取り戻した時のえっちゃんの様子や気持ちを想像して読む。	【読】帽子を取り戻した時のえっちゃんの様子や気持ちを想像して読んでいる。 (発言、ノート)
	1 2 本 時 1 3 1 4	・発表場面ごとにグループを編成し、役割を分担して、読み方や動作を工夫し、練習する。	【読】場面の様子について、人物の行動を中心に想像を広げながら読んでいる。 (発言、音読、動作)
	1 5 1 6	・「名前を見てちょうだい」の音読劇を発表し、感想を交流する。	【読】物語の中の言葉をもとに、思い浮かべた人物の様子を音読や動作で表している。 (音読、動作) 【読】発表を見て、感想を述べている。(発言)
第 三 次	1 7	・場面ごとに人物の様子を思い浮かべて、声や動きで表すことができたか振り返る。	【読】人物の行動や様子を中心に想像を広げながら読むことができたかを振り返っている。 (発言、プリント)

7 本時の指導 (1 2 / 1 6)

(1) 目標

登場人物の気持ちや様子を思い浮かべて、グループで読み方や動作を工夫して表現することができる。

手立て①「ねらいを明確にした交流の位置づけ」

- 【ねらい】 →登場人物の気持ちや様子を、叙述に沿って考え、読み方や動作を工夫して表現するため話し合う。
- 【方向性】 →自分の考えを出し合い、グループで表現の仕方を決定する。
- 【児童の実態】 →自分の考えを持って積極的に意見を言える児童と、考えは持っているが自信がなくなかなか意見を言えない児童がいる。
- 【形態】 →4～5人のグループ(少人数なので、比較的子どもが自分の考えを表現しやすい。また友達と考えを聞き合って、試行錯誤する活動ができる)

手立て②「子どもが交流の良さを実感することができるような振り返りの位置づけ」

「友達と意見を聞きあって、自分の考えを広げていく」ことについて、次の視点で本時の学習を振り返らせる。

- ア グループで話し合っよよかったことは何か。
- イ 誰のどんな意見が参考になったか。

(2) 展開

段階	主な学習活動	予想される子どもの考え	指導上の留意点
導入 5分	1 前時までの学習想起をする 2 学習課題をつかむ 音読げきの読み方やどうさのし方をくふうしよう。		<ul style="list-style-type: none"> 人物の気持ちや様子が分かるように学習の流れ、前時の学習内容を掲示しておく。
展開 30分	3 音読劇で気を付けることを確認する ・読み方・声の大きさ、速さ ・どうさ・様子が伝わるような動き 4 グループごとに練習する (1) 選んだ場面の読み方を話し合って工夫する。 ・会話文の読み方の工夫を中心に考える。 (2) 途中経過を発表し合う。 ・よかったところを発表し合う。 (3) グループで話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> えっちゃんは怒っていると思うので大きい声で読んだほうがいい。 名前を確認しているので、ゆっくりはっきり読んだほうがいい。 怒った声 意地悪そうだった。 怒ったかんじがする。 	<ul style="list-style-type: none"> 読み方や動作の工夫するポイントを確認させる。 友達の意見をもとにいろいろな表現を試してみるよう助言する。 叙述から逸脱していないか気を付けさせる。 参考になる工夫を適宜全体に知らせる。 いろいろな読み方の意見が出てまとまらなかった場合は両方発表させてみんなの意見を聞く。 発表を参考によいと思ったことは取り入れ、さらに工夫できないか考えさせる。
終末 10分	5 まとめをする ・今日工夫したところを発表する。 6 本時の振り返りをし、次時の学習の確認をする ・グループではっぴょうする。	<ul style="list-style-type: none"> 声を大きくした。 ぼうしが飛ぶとき手の動きをつけた。 	<ul style="list-style-type: none"> 振り返りカードに書く。 次時もグループ練習であることを伝える

(3) 本時の評価の観点と具体的評価規準

評価の観点	具体的評価規準	概ね満足できる状況	支援を必要とする児童への手立て
<p>登場人物の気持ちや様子を、想像を広げながら読み方や動作を工夫することができる。</p> <p>自分の意見を積極的に発表したり、友達と自分の意見を比べて考えたりできる。</p>	<p>登場人物の気持ちや様子が伝わるように読み方や動作を工夫できている。</p> <p>自分の意見を積極的には発表したり、友達と自分の意見を比べて考えたりできている。</p>	<p>教師との対話や友達の意見を参考にさせたり、板書を手がかりにさせたりして支援する。</p>	

(4) 板書計画

名前を見てちょうだい

音読げきの読み方やどうさのし方をくふうしよう。

くふうするポイント

読み方

○声

- ・ 大きさ
- ・ はやさ
- ・ 高さ
- ・ 低さ
- ・ 間のとり方

どうさ

- ・ 手のうごき
- ・ 足のうごき
- ・ ふりむき

今日のくふうでよかったこと

- ・ 気持ちがよく分かるような強い読み方だった。
- ・ 読み方だけでなく、ふりも入れていたので、様子がよくわかった。